

口腔ケアはあなたの命を守ります

ぼたん園 歯つぴー通信



誤嚥性肺炎とは

本来、気管に入っていない物が気管に入り(誤嚥)、そのために生じた肺炎のことをいいます。飲み込む機能がや咳をする力が弱くなるとお口の中の細菌、食べかす、逆流した胃液などが誤って気管に入りやすくなります。その結果、発症するのが誤嚥性肺炎です。



少量の唾液や胃液などが気管に迷入して起こる

誤嚥(不顕性誤嚥)は本人

でも自覚がないため 繰り返し発症することが多く、

体力の弱っている高齢者では、命にかかわる ケースも

少なくない病気です。特徴

は、喉に痰が絡んでゴロゴロ

している、食事中や食後に

ガラガラした声になる、微

熱が続くなどがみられるこ

とがあります。口腔ケアに

よって、細菌や食べかすを

減らし、口腔の清潔を保つ

事が、効果的な予防法です。

参考資料：厚生省ヘルスネット



編集後記

日中は過ごしやすい季節になりましたね。

朝夕の寒暖差にご自愛ください。ぼたん園では肺炎を

なくすことを目標に 効果

策のひとつである口腔衛生

を歯科衛生士を2名体制

にして、より深く取り組ん

できました。

その結果、令和5年度の

肺炎の発症が昨年度の

25件から13件に減少しま

した。(3月10日現在)

改めて

「健康の入り口は健口」

であることを確信しました。

これからも継続して口腔衛生

に注力して参ります。

看護室 歯科衛生士

